

関連項目：検証改善プラン②

指導点検項目「指導スタンダード」を活用した指導評価

目的

本校は、地域の都市化に伴い児童数が近年増加している大規模校（児童数：900名）である。そのため、児童が安心・安全で生き生きとした学校生活を過ごせるようにするには、具体的な指導・対応に対して共通理解を図り、学校全体で一貫した生徒指導を進めることが喫緊の課題であった。そこで、指導点検項目「指導スタンダード」を作成して、毎月1回全教職員が日々の指導について自己点検を行うことにした。

内容

● 指導スタンダードの作成

平成22年度に主幹教諭が中心となり、指導点検項目「指導スタンダード」（右記）を作成した。具体的には、学習面と生活面における27項目の基本的な指導目標を明文化した。そして、この指導点検項目を基にして、共通に一貫性のある指導を継続的に行うようにした。そのために、月末には3段階で自己点検を行い、その平均点を生徒指導部会で全教職員に示し協議を行っている。

基本的習慣		教師の行動目標				4月	5月	6月
月目標		健康な生活しよう						
学	授業全般	① 授業はチャイム開始、チャイム終了を目指す。						
	授業態度	① 発表者の顔を見て話を聞くよう指導する。						
	習	① 廊下や階段を静かに歩くよう指導する。						
生	言葉環境	① 廊下や階段を静かに歩くよう指導する。						
	学習全般	① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						
	学校のきまり	① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						
活	当番活動等	① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						
	給食全般	① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						
	登下校	① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						
自	自尊感情向上	① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						
		① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						
		① 読書する時間を確保し図書室の利用に努める。						

● 指導スタンダードの活用

この指導点検項目は、児童が守るべき規範「多肥っ子10の約束」や学習アイテム集「多ヒント」として、児童・保護者・地域にも公開している。教職員・児童・保護者が、指導点検項目について共通理解できたことで、6年間を通じた社会性や規範意識、コミュニケーション能力の向上が図られるようになった。そして、トラブルも確実に減少してきている。また、実際の指導では、学年団ごとに話し合い、発達段階や児童の個性に応じた指導を心がけることで、指導の効果を高めるようにした。

● 指導スタンダードの改善

自己点検の集計結果は、生徒指導委員会で公表し、指導状況とその成果を確かめ合うようにしている。その際、平均点が低かった項目や重点的に指導したい項目については、学年団ごとに指導方法等の見直しを行い、翌月の指導改善に取り組んでいる。具体的には、1学期までの自己点検の結果では、「発表の話形」（2.3点）、「読者時間の確保」（2.4点）、「家庭学習の指導」（2.1点）、「筆箱・机の整理」（2.3点）の項目が2.4点以下で他の項目と比較して平均点が低かった。そこで、この4項目については、2学期の重点指導項目と位置付けたことで、全教職員が一貫した指導を心がけることができるようになった。

成果

「指導スタンダード」を作成して、指導項目を明文化したことで全教職員が共通理解を図れるようになった。また、同じ課題に向かって見直しを持って指導することもできるようになり、児童の規範意識を醸成しようという意識をより高めることができた。